

IFS Cloudにより、Cimcorp社は よりスマートに業務をこなし 顧客への優れた「サービスの瞬間」を グローバルに展開



ロボティクスソリューションプロバイダーのCimcorp Groupは、IFS Cloudを導入した最初の企業の1つであり、6大陸で一貫したインターフェースを持つ全社的なITシステムを構築しています。

Cimcorp社は、倉庫、配送センター、製造施設におけるマテリアルフローを最適化するためのイントラロジスティクス用の高度なロボティクスソリューションを提供しています。運用コストの削減、トレーサビリティの確保、効率性の向上を実現するCimcorpのシステムは、世界40カ国の製造・配送センターで使用されています。

同社は、世界6カ国、3大陸にまたがるグローバルなITシステムに依存しています。テクノロジーとバックエンドシステムを通じて、世界のどこで働いても一貫性のある環境を従業員に提供することを目指しています。2016年にIFSを採用して以来、Cimcorp社は、バラバラの場所にあった情報の統一して不要な作業の削減し、情報へのリアルタイムアクセスによる意思決定の改善を実現しています。IFS Cloudへの移行は、ITパートナーシップの成功を通じて、業界の重要な洞察とベストプラクティスを継続的に活用していきたいという同社の戦略の現れです。

Cimcorp社のIT部門ディレクターであるPekka Nurmi氏は、「グローバルな一貫性を目指すことは、我々のビジネスビジョンの重要な部分です。複数のシステムに依存するITインフラは複雑であり、ビジネス上の変化を抑制することで、コストや戦略上危険な遅延を引き起こしかねません。IFS Cloudによってシンプルになったことで、私たちはお客様に価値と最高のサービスを提供することに集中できるのです。」と述べています。

Cimcorp社について

Cimcorpグループは、村田機械株式会社(Muratec)に属しており、Cimcorp Groupは、タイヤ業界向けのマテリアルハンドリングシステムや、食品・飲料、小売、Eコマース、FMCG、郵便サービス業界向けの先進的なロボティクスソリューションを提供しています。フィンランドのウルヴィラに本社を置き、カナダと米国に子会社を持つCimcorp社のシステムは、6大陸の40カ国以上で使用されています。

www.cimcorp.com

CIMCORP



ビジネス成果ベースのIT

Nurmi氏は、ITとの関係をトランザクショナルなものから、成果をもたらすパートナーシップに移行する必要性を強調します。「10年前と比較すると、今日のITチームは内部実行の重要性から、ビジネス戦略に対する成果の重要性へとシフトしています」と述べています。「ITは、イノベーションと競争優位を実現するための重要な手段です。ITは、革新と競争上の優位性を実現するための重要な要素です。私たちは、すべてを自社で発明することができないことを知っているのので、IFSのような専門家のパートナーを選択し、信頼しています。当社にとって、これは、ITとデータ資産をIFS Cloudで活用することで、難しい仕事ではなく、よりスマートな仕事ができるようになることを意味します。」と述べています。

Cimcorp社のCFOであるTommi Kumlander氏にとっても、会社の戦略的な焦点を維持することは最重要課題です。「正確で最新のデータを、コスト効率の良い方法で常に利用できる必要があります。IFS Cloudは、ビジネスチャンスの特典、コスト削減、システム環境に関するリスクの軽減に役立っています。当社の中核事業がデジタル化の流れからより多くの利益を得ると同時に、より良いカスタマーエクスペリエンスを提供できるようになりました。」と述べています。

IFS Cloudへの移行により、同社は新しい付加価値のある顧客サービスを開発・提供できるようになりました。顧客ポータルでは、Cimcorp社の顧客が即座に価格を知ることができ、購入プロセスの短縮と合理化、納期の短縮に役立っています。また、Kumlander氏はさらなる可能性を見据えている。「将来的には、システムのパフォーマンスとステータスに関する詳細な情報をリアルタイムで確認できるようになることで、潜在的な問題を予測し、予防措置を計画することができます。私たちは、お客様に機器や使用状況に関するより多くの統計を提供し、システムの稼働時間を最大化できるようにしたいと考えています。また、拡張現実ソリューションにより、故障発見や診断が大幅に加速・改善され、現場担当者の業務を遠隔で支援できるようになります。」

既成概念にとらわれないイノベーション

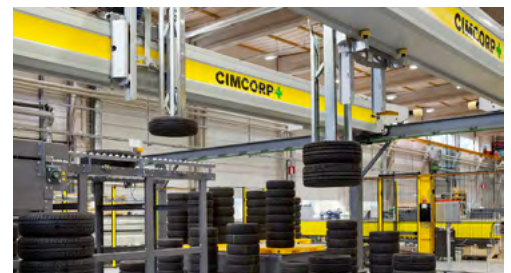
IFS Cloudの革新的なテクノロジーは、「out of the box」で使えるので、すぐに導入してビジネス価値を提供することができます。Nurmi氏は、「私たちは今、IoT、人工知能(AI)、機械学習(ML)、デジタルツインなどの技術に注目し、それらを業務にどんどん活用する方法を考えています」と説明します。

Cimcorp社の自動マテリアルハンドリングシステムは大量のデータを生成するため、現在注力している分野の1つがアナリティクスです。

「IFS Cloudは、異なる顧客や異なる拠点からのデータと分析を、当社のERPに既に存在する資産にリンクさせる機会を与えてくれるのです。すべてのデータと分析に一元的かつ簡単にアクセスできるようになり、私たち自身にとってもより良いツールになり、お客様にとってもより良いサービスを生み出す機会になるでしょう。」と述べています。

導入のメリット

- 複数拠点の情報を1つのシステムで管理
- 作業負荷の軽減による時間とコストの削減
- より良い意思決定を行うためのリアルタイムデータ
- デジタルトランスフォーメーションとテクノロジーの組み込み
- ソフトウェアのカスタマイズをすることなく、必要なビジネス機能を実現
- IFS CloudによるEvergreenプラットフォーム
- タブレットやスマートフォンですべてのアプリケーションとデータにアクセス可能
- イノベーションと新サービスをサポート



カスタマイズを避ける

IFS社は、主要な業界分野の何千もの顧客から得た知識を活用し、IFS Cloudの標準機能として強力な機能を開発しており、Nurmi氏には特にこのことが心に響いています。「IFS Cloudは、私たちが必要とするビジネスプロセスに対して、"そのまま"機能することが分かっています。他の企業では、高額なERPの変更費用を支払って、2、3年後に不要になったからということで、その大部分を削除しているのを見かけます。コアを変更する必要がないIFS Cloudは、費用対効果が高く、いつまでも使えるプラットフォームを提供してくれます。」

これがイノベーションと競争優位を実現するための重要な要素です。IFS CloudでITとデータ資産を活用することで、我々はハードワークではなく、スマートに仕事ができるようになりました。

Cimcorp Group
コーポレートITディレクター Pekka Nurmi 氏

Moment of Service™ (サービスの瞬間)

Nurmi氏は、企業が「サービスの瞬間」をマスターすることを支援するというIFSの使命を強く信じています。「私たちが設計したオートメーションシステムを、顧客は何年も、何十年も使い続けています。ライフサイクル全体にわたる正確なリアルタイムデータからより多くの知見を得ることができれば、改善や革新的な新しいソリューションやサービスを提供し、お客様をより支援することができます。IFS Cloudは、顧客が現在および将来にわたって必要とするターンキーオートメーションと生産性の高いアップタイムを開発し提供するための全体像を提供しています。」



お問い合わせ

詳細は、IFS の Web サイト ifs.com/ja をご覧ください。お問い合わせは、info.jp@ifs.com までメールでお寄せください。

